

No.60 2018年8月号

倉敷医療生活協同組合

コープリハビリテーション病院

〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60

TEL 086-444-3212

老人保健施設 老健あかね

TEL 086-446-6541

西日本豪雨について

倉敷市真備地域をはじめ各地での甚大な被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。そして困難な状況のなか救援、復興活動にご参加の皆様には敬意を表します。さて、私もコープリハビリテーション病院、老健あかねも患者さんの緊急受入れをしました。また、避難所の方々への入浴施設開放をしています。

す。今後は、避難所生活を送られる方々への生活不活発病への対応などリハビリを活かした支援をする心づもりです。一日も早くもとの暮らしにもどれるよう職員一同一緒にがんばります。

コープリハビリテーション病院

院長 鍛本真一郎

老健あかね

施設長 福田 博

真備歯科診療所 復旧に向け始動

今回の豪雨災害で倉敷医療生活協同組合の真備歯科診療所も被災いたしました。診療所の再開には3ヶ月以上かかる予定です。治療中の患者さんの要望にもできるだけ応えていけるようにいたします。

(診療所の代表電話

086169816523)



ガレキに埋め尽くされた診療所



看板上部まで浸水

コープリハビリテーション病院で

学んだこと

～病院内での患者生活を考えた2ヶ月間～

倉敷中央病院 救急医 田村暢一朗

コープリハビリテーション病院で研修させていただいて、はや2ヶ月が経とうとしています。当院で学べた大きな2つを述べたいと思います。一つが、医療福祉の最終目標は患者という立場を生活者に戻すということ、もう一つが、患者中心の医療福祉の重要性です。

まず、患者を生活者に戻すことです。当たり前ですが、患者は病院に来るまでは、朝起きて、朝食を食べ、家族や近所の方と話し、人によっては仕事をし、夜になれば寝るという、その個人ごとの生活を送る生活者であったはずですが、しかし、一旦入院する

と患者という立場に変わり、もともと送っていた生活環境から隔離されます。そして、医療者は生活者でなく患者として、目の前の患者に接することになります。しかし、最終的には医療者はその目の前の患者の身体的、精神的、社会的な問題を解決して生活者に戻さないとはいけません。急性期から回復期に至るまでの最終目標は一貫しています。そして、医療者は入院や医療介入が患者を患者の元々の生活環境から切り離し、このことが、時として患者を生活者に戻すという最終目標をさらに困難にしていることを自覚する必要があります。入院時



入院依頼を受けて生活背景など情報共有する会議（中央が筆者）

は身体的問題が優先され、入院という環境がどうしても必要となります。しかし、この入院生活の中に、少しでも患者さんがもともと送っていた生活を組み込むこと、例えば趣味を活かしたりリハビリや家にあつた掛け物を病院でも使

用するといったことが、生活者に戻すという最終目標を近づける可能性があることを学ばせていただきました。次に、患者中心の医療福祉の重要性です。これは病院の標語的な単なる概念ではありません。医療福祉が可能なのは患者の問題解決自体でなく、それを支えることだけです。例えば、集中治療領域でいうと、全身に感染症の影響が出る、敗血症の患者さんに行っても、もともと患者が持っている細菌に対抗する免疫状態が不良であれば、良くするのは困難です。リハビリ領域でいうと、起居を良くしようと思えば、セラピストが殿筋を刺激するような運動をしても、その殿筋自体を強化したり、バランス感覚を習得するのは患者自身です。このように、一見すると医療者自身が患者を良くしていると思われる医療行為は、実は患者の治る力をサポートしているだけなの



脳卒中連携の集まりで回復期リハビリの役割を報告（横は川大リハ科花山教授と西橋 MSW）

です。つまり、患者を良くするには、患者自身の回復へのモチベーションが必要不可欠です。これを実現するためには、患者が有している今残されている課題と、それを解決するプロセスを患者と医療者が共有することが重要だと考えました。

このコープリハビリテーション病院で学んだ2点を、倉敷中央病院に持ち帰り、急性期から患者さんの長期的予後を少しでも良く出来るような医療を提供できればと考えております。2ヶ月間、研修を支えていただいた鍛本先生、スタッフの皆様、患者さま、本当にありがとうございます。

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

きずなの会

「介護を語り合う会」を開催



介護を語り合う会

7月6日（金）、毎年恒例のきずなの会「介護を語り合う会」を開催しました。

今回介護体験を発表された井上敬子さんは、寝たきりのお母様を10年にわたり自宅で介護されています。突然寝たきりとなったお母様を受け入れる一方で、自宅でも介護していくには不安が大きいと述べている。病院とは違って穏やかだったこと、訪問診療や訪問看護、通所リハビリやショートステイ、老健への入退所など様々な関係機関の支援により在宅介護を支えてもらったこと、そして今後介護する自

分が歳を重ね、最期まで自宅で看ることへの不安など、お話しくださいました。参加者からは、自宅での体調管理の難しさや、自宅で看取った経験、長年に渡る介護を終えた今の思い、そして在宅介護を続けていくためには「もう少し頑張れるんじゃない？」と周りに思われるくらい頑張りで十分で、そうでなければ先の見えない介護生活は続けられない、というご意見などが出て和気あいあいと話し、共感し合うことができました。

「介護を語り合う会」は、きずなの会がもっとも大事にしている行事の一つです。これからも介護者同士の思いを置きなく語れる場所として、続けていきたいと思っています。

老健あかね
支援相談員

中曽真知子

にんにんサロンで体力測定

3ヶ月の効果を確認

4月から始めたサロンは早いもので3ヶ月が経過しました。毎月40名前後の方が参加され、「まだまだ健康で過ごしたい」という思いの強さを感じています。今回は現状の確認も含めて体力チェックを行いました。測定は「握力」「下肢筋力」「立位バランス」の3種類を行ないました。いずれも簡易な評価で参加者でも測定できるものを選びました。

参加者は自らの値にドキドキしながら測定していました。隣の人と競争するように行っている方も居られましたが、あくまで自分の値を知ることの意味があることを伝えるとホッとされていました。筋力やバランスなど見える化される事で自分の健康状態が客観的に見えるよい刺激になったようでした。定期的にこのような機会を設け、自らの健康



自分の握力に興味津々な参加者

チェックに役立て頂けると幸いです。

コープリハビリテーション病院
理学療法士 佐藤雅昭

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



倉敷翠松高校一年生ボランティア
髪を乾かして整容のお手伝い



第五福田小学校五年生と一緒に
トランプや折り紙で楽しく交流



倉敷中央高校1年生 介護実習の皆さん、利用者様と一緒に



第五福田保育園の可愛い歌と踊りに夢中

保育園・小学校・高校から

介護実習・ボランティア続々

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院
病院事務課
近藤良枝



老健あかね
介護福祉士
畑元幸輝



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 8:30～17:00
(土日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

診 療 表								
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8：30～12：00 [086-444-3212]						老健あかね [086-446-6541]		
診療時間	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健幸アップ 教室	訪問 リハビリ	通所 リハビリ	
	午前 9:00～ 12:30	14:00～ 15:00	午後	9:00～ 16:50	9:30～ 11:00		9:00～ 16:00	
				○			○	○
	渡辺 (内科)	○ (予約制)	○ (予約制)	○			○	○
	水	小田 (リハ)		○			○	○
	木	太田 (神内)	○ (予約制)	○			○	○
	金	飯塚 (内科)		○			○	○
	土				○			○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平 日	9:00～12:00 13:30～16:30
	土曜日	9:00～12:00
	日・祝日	休み

無料低額診療事業・介護老人保健施設利用事業を行っています。